

1 の 三

自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかをみる問題

1 第一中学校の三年生は、卒業生から学友会を開いています。その中で、高校生の橋本さんが、書道パフォーマンスについて動画を撮って話しています。次の【橋本さんの話】、【場面①で映している画面】、【場面②で映している画面】、

【橋本さんの話】

場面①

皆さん、こんにちは。青空高校の橋本です。今日は、私が所属する書道部で行っている書道パフォーマンスの魅力についてお話しします。書道パフォーマンスでは、複数のメンバーで一つの作品を書き上げます。これが、書道パフォーマンスの魅力だと私は思います。早速ですが、四月の新入生歓迎会で私たちが行った書道パフォーマンスの様子をご覧ください。

場面②

ここで一度止めます。書道パフォーマンスでは、このように教室の半分くらいのとても大きな紙を使います。このとき私は、真ん中の文字を担当しました。私が使っている筆は、墨を吸うとかなりの重さになり、文字を書くのがとても大変です。他のメンバーも皆、それぞれ担当する文字に集中し、体全体を使って書いています。それでは、私たちの動きに注目して、作品が完成するまでの様子をご覧ください。

場面③

いかがでしたか。今映し出されている作品の言葉は、メンバーで話し合い、新入生を花のつぼみにたとえ、笑顔の花が咲くことを願って選びました。それから、一つの作品として文字の調和をとることを大切にしました。メンバー五人が、それぞれ自分の書きたいように書いていては、よい作品にはなりません。そのため、中学校の授業で学んだ行書の特徴を確認しながら、何度も練習しました。このように、私はメンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げることに魅力を感じています。皆さんにも、書道パフォーマンスの魅力が伝わり、興味をもってもらえるとうれしく思います。

三 この会の最後に、第一中学校の生徒がお礼の言葉を述べます。あなたなら、橋本さんに対してどのように述べますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 橋本さんへのお礼の言葉を実際にもついでに書くこと。

条件2 橋本さんの伝えたいことを取り上げて、自分がそれをどのように受け止めたのかがわかるように具体的に書くこと。

正答の導き方

〔1〕 問題の場面設定や条件を捉える。

条件1 橋本さんへのお礼の言葉を実際に話すように書く。

条件2 橋本さんの伝えたいことを取り上げて、自分がそれをどのように受け止めたのかがわかるように具体的に書く。

必要な知識・技能

- 話の構成を組み立てる
- ふさわしい言葉遣いで話す

〔2〕 【橋本さんの話】の中から、橋本さんの伝えたいことを捉え、自分がそれをどのように受け止めたのか具体的に考える。

(例) 橋本さんの伝えたいこと

- メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げるのが書道パフォーマンスの魅力であること
- 何度も練習する大変さや、協力して作品を作り上げる楽しさ

(例) 橋本さんの話から考えたこと

- 私も力を合わせて行事などに取り組み、充実感を味わいたい
- 橋本さんのように仲間と一緒に部活動を頑張りたい

〔3〕 2つの条件にしたがってお礼の言葉を書く。

(正答例)

- 橋本さん、本日はありがとうございました。橋本さんのお話を伺って、メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げる書道パフォーマンスの魅力がよく分かりました。私たちも、力を合わせて学校行事などに取り組み、充実感を味わいたいです。

# 調査問題を活用した授業改善のための指導資料

## 誤答例とその原因

(誤答例1) 橋本さん、本日はありがとうございました。橋本さんのお話を伺って、メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げる書道パフォーマンスの魅力が分かりました。

(誤答例2) お話を聞いて私も橋本さんのように頑張ろうと思いました。ありがとうございました。

- ◆ 橋本さんの伝えたいことを取り上げて表現したり、自分がどのように受け止めたのかがわかるように表現したりすることができていない。つまり、条件2の内容が不足している。

(誤答例3) 橋本さんの書道パフォーマンスの話はとても参考になった。行書で文字を書いていて、中学校の授業で学んだことが活かされていることが分かり、私も毎日の授業を大切に受けようと思った。

- ◆ ふさわしい言葉遣い(敬語・敬体)で表現できていない。つまり、条件1の内容が不足している。

## 授業改善のポイント

- 場面や状況に応じて話す場合、目的・相手意識を明確にもつことができるようにしたり、取り上げる事柄や自分の考えなどをどのように整理・配列するかを考えさせたりすることが大切です。

卒業生から学ぶ会の最後に橋本さんへのお礼の言葉を述べるとしたら、皆さんならどのような内容を、どのように構成して述べますか。



「感謝・お礼の挨拶」だけでなく、「橋本さんの伝えたいこと」を取り上げることで、より具体的になり、感謝の気持ちが伝わるのではないかな。



「橋本さんの伝えたいこと」を「どのように受け止めたのか」自分の考えを付け加えると、よりお礼の言葉としてふさわしくなると思うよ。

自分がどのように受け止めたのか

橋本さんの伝えたいこと

感謝・お礼の挨拶

【話す内容】

- 場面や状況に応じた言葉遣いで話すことができているか実際に聞き合い、意見交換をします。また、相手に分かりやすく伝わるように話し方の工夫について考えることも大切です。

構成メモを基に、お礼の言葉としてふさわしい言葉遣いで原稿を作成し、読み合ひましょう。



「聞いて」は、謙譲語の「伺って」に直すとよいね。



実際に話す際には、身振り手振りや声に抑揚を付けるなど話し方の工夫も大切だね。

橋本さん、本日はありがとうございました。橋本さんのお話を伺って、メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げる書道パフォーマンスの魅力がよく分かりました。私たちも、力を合わせて学校行事などに組み、充実感を味わいたいです。

【原稿】

内容	話し方等
○感謝・お礼の挨拶 ○橋本さんの伝えたいこと ・書道パフォーマンスの魅力(メンバー全員で力を合わせて作品を作り上げること) ○どのように受け止めたのか ・力を合わせて学校行事に取り組む↓充実感	・相手を見て会釈 ・映し出されている画面を手で指しながら ・力強い声で

【構成メモ】